

守ろう 作ろう グレート・オモトープ

気仙沼市立面瀬小学校 6年生

みなさんは、「グレート・オモトープ」を知っていますか。「オモトープ」とは、私たちの学校にあるビオトープの名前です。面瀬は、自然が豊かでたくさんの生き物がいるから、地域全体のことを「ビオトープ」に見立てて、「素晴らしいオモトープ」＝「グレート・オモトープ」と呼んでいます。私たちは、「グレート・オモトープ」を守って、さらに発展させていきたいという思いから総合的な学習に取り組んでいます。



学習の3つのステージ

世界とつながる「グレート・オモトープ」の生き物を学ぶ（1学期）

「グレートオモトープ」を守り、作る（2学期）

自分たちの思いや取組を発信する（3学期）

7つのテーマ、9つのチーム

①面瀬の生き物を守りたい。→そのために、私たちは、ふれあい農園の近くに生き物のすみかを作ります。

②野鳥の楽園をつくりたい。→そのために、学校や尾崎防災公園の防災林に巣箱を設置します。

③魚を増やすために（2チーム）→アマモの育て方と魚礁の設置方法を学び、実現するための募金活動を行います。

④尾崎でのり養殖を復活させたい→のり養殖の歴史を学び、尾崎の海でのり養殖にチャレンジし、のり養殖の効果をみんなに宣伝します。

⑤尾崎砂浜再生プロジェクト→砂浜の役割を調べ、尾崎防災公園を海浜公園として整備してもらえるよう市長さんに御願います。

⑥海洋ゴミ0を目指して（2チーム）→私たちは、海洋プラスチックゴミで素敵な小物を作って販売し、その収益を環境のために使います。

⑦地球温暖化をくいとめるための小さな一歩

→ゴミを減らすために、ゴミで楽器を作ります。食品ロスを減らす取組をします。CO2を減らすための5つの取組を地元のラジオやケーブルテレビ、YouTubeでみんなに呼び掛けます。

…今日は、これまでの取組の成果と課題を発表します